

MrSID ファイル (*.sid) の直接利用

ご存知でしたか?... TNT 製品では MrSID ファイルを直接表示したり使用できます。
(MrSID は LizardTech 社が特許を持つウェーブレット技術による圧縮形式です)。

MrSID ファイルを直接使用することで...

- ファイルをインポートせずに直接表示できます。
- 大容量のファイルを素早く表示できます。
- 「モザイク」処理など、多くの処理でラスタオブジェクトとして使えます (自動解析やスケッチ処理では欠損ありのラスタは使えません)。
- ラスタのデータタイプを使うことができます。
- インポートせず TNTAtlas でも使用できます。

MrSID ファイルの中の 6 個の Landsat GeoCover タイルのモザイク表示

モザイク処理における MrSID ファイルの選択

MrSID ファイルは、ジオリファレンスを付随することがあり、TNT 製品において自動的に利用されます (例えば、共通の名前の *.sdw ファイルが付随する場合があります)。

24 ビットのカラーコンポジットの MrSID ファイルの画像セルに対して表示されたデータタイプ

合計 1.3GB の 6 個の MrSID ファイルの表示時間 (非圧縮で 40.2GB)

表示している圧縮された MrSID ファイルの 6 個のタイル (それぞれ 198MB から 228MB) は、<https://zulu.ssc.nasa.gov/mrsid/> から無料でダウンロードしました。これらのタイルは、2000 年のランドサット -ETM バンド 7-4-2 を RGB で表示したもので、ピクセルサイズが 14.25 メートルのパンクロバンドを使ってパンシャープンしています。各タイルの範囲は緯度 5 度、経度 6 度です。圧縮率は通常 1/30 で、非圧縮では 40.2GB になります。

MrSID ファイルを直接使用する方法

- ファイルの上でダブルクリックします。
- [プログラムから開く (Open With)] オプションを使って TNT 製品を選択します。
- TNT の <オブジェクト (複数) を選択> ダイアログでファイルを選択します。

さらに知りたいことがあれば...



以下のチュートリアルをご覧ください
他の主な製品で地理データを共有する
(Sharing Geodata with Other Popular Products)

